

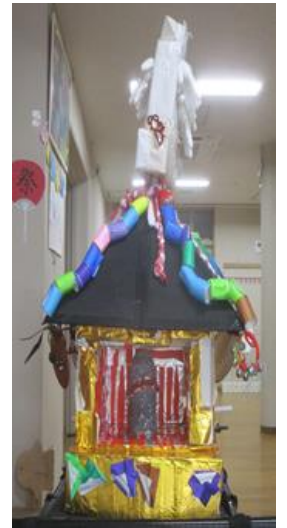


7月園だより

令和5年7月1日
目黒区立原町保育園園長

昨年の夏、園舎前のスロープにたくさんのひまわりが咲きました。今年も用務職員がひまわりの種を植え、毎日水やりや生長の様子を見守りながら育てています。8月頃、たくさんの花が咲き誇ることを今から楽しみにしています。園庭や屋上では夏野菜や稲がすくすくと生長しています。先日、くすのき組が育てたじゃがいもをポテトチップスにして食べました。思っていたよりも食べられるじゃがいもの数が少なく一人一枚でしたが、少しずつ噛んで味いながら大事に食べていました。稲も葉が大きく育ってきました。園庭にある畑なので、植えてからの生長の様子を全園児で見守りながら、これからもそれぞれの年齢での食育に繋げていきたいと思ひます。

先月30日に夏まつりを行いました。当日は朝から曇り空で雨の予報も出ています。くすのき組の手作り神輿の真ん中にはお地蔵様が鎮座しており、前日から「明日は晴れますように」とお地蔵様に祈っていました。祭りが始まるまで空を見上げて心配していましたが、見事に祈りが空に届き、無事に園庭でお神輿を担ぐことができました。くすのき組の子どもたちの表情は金色のお神輿よりもきらきらと輝いて見え、見守っていた他クラスの子どもたちからもたくさんの拍手が贈られました。ホールでのヨーヨー釣り、輪投げ、的あて、ワニワニパニックなどのお店を回り、最後は威勢の良い大太鼓のリズムに合わせて盆踊りを楽しみました。



7月の予定

プール開き
七夕会
中旬 避難訓練・身体測定

☆おねがい☆

プールの入れ替えのため、大型トラックが園舎前に駐車されますので、9時までの登園にご協力をお願いいたします。



子どもたちが大好きな水遊びや、プールが始まります。ご家庭と一緒に生活リズムを整えながら、元気に過ごせる夏にしていきたいと思ひます。安全に水あそびやプール活動が行えるよう、身体への貼付物についてのお知らせを致します。

	水あそび	プール
ホクナリンテープ	○	×
キズパワーパッド	○	○
防水テープ	○	○
絆創膏	○	×
かゆみ止めパッチ	○	×

※衣類用の虫よけパッチは登園時も不可です。

幼児クラスの戸外遊びの様子

園庭や散歩先でも、友達や保育士と一緒に自然物に親しんだり、遊具を介して楽しんだり好きな遊びを見つけながら過ごしています。今月は、戸外あそびの姿をお知らせします。

『ダンゴムシに、夢中！』 さくら組（3歳児クラス）

「先生、だんごむしの“カラ” みつけたの。ちょっときて」と呼びに来たので、保育士が向かうと「これ」と見せてくれます。周りにいる子どもも「なに？」と覗き興味津々です。「殻って白いんだ！だんご虫って殻があるんだね」と保育士が驚いたように声をかけると「うまれてくるときに、殻からでてくるんだよ」と、得意気に話してくれます。それを聞いた友達が、テーブルの上に置いてある緑の葉を見て「だんごむしのごはんだね」と言ったり「だんごむしは、茶色のはっぱを食べるんだよ」と、皆でやり取りが始まります。「これが茶色のはっぱだよ」と皆で葉を探し合い、だんご虫が食べるかどうか、顔を近づけて観察し始めました。探してきた葉にだんごむしが近づくと「食べてるね」と嬉しそうです。楽しさや面白さに共感しながら、友達同士で会話のやり取りや遊びが広がるよう、つなげていきたいと思います。



『大きな山と川を作ろう』 ぽぷら組（4歳児クラス）

園庭の砂場で友達と一緒に大きな山を作ろうとしています。シャベルを両手に持って砂をかけたり、バケツいっぱい砂を入れて大量の砂をかけたり、両手を使って山の斜面を固めていました。「水をかけたらどうなるかな」とつぶやく子どもがいて、早速お椀に水を入れてきて山の上から流してみると「ここはちょっと崩れた」「あっ、ここは固まった」と言って、水を流した部分をじっと見つめています。山から水を流した部分が川になると、今度は先ほどのお椀ではなく、それよりも大きいバケツや洗面器に水を入れ、こぼさないようにゆっくり運んできては、そっと上から流しています。「こっちの川とつなげよう」と川の曲がり具合を調整したり、子どもたちなりに試行錯誤しながら作ったりと、水を流して遊ぶことを楽しんでいます。

『跳んでみよう！自分のなわとび』 くすのき組（5歳児クラス）

春に染めた布を三つ編みした自分だけのなわとびを持って林試の森に行きました。まずは前とびに挑戦です。縄を回すと同時にジャンプをしてしまい「あれ」と首を傾げる友達を見て「こうだよ！みてて」とゆっくり跳んで見せてあげています。何度も跳ぶうちに「できた」と嬉しそうにしています。次は走りなわとびにも挑戦、友達数人でタイミングを合わせて「せーの」という掛け声と一緒に走ります。ほぼ“縄を持っているだけ”にも見えますが、走り終えた後にいい表情で「もう一回やろう」と、繰り返し楽しんでいます。今までなわとびに興味なかった子どもも自分のなわとびで「嬉しい！跳べるようになりたい」と積極的な姿も見られます。まだ取り組みは始まったばかり、この夏は自分の縄と親友になれたらいいなと思います。

